

みんなで作ろう！ セーフコミュニティちちぶ

犯罪の防止対策委員会 活動報告



発表者：委員長 島田憲一

所属：秩父市商店連盟連合会

犯罪の防止対策委員会設置の背景

①刑法犯罪認知件数は、全国、埼玉県に比べてかなり少ないが、減少していない。多くの人が犯罪被害に不安を感じている状況にある。

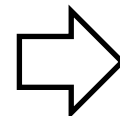


図1
表1

②地域住民が協力して防犯活動に取り組むべきと考えている市民が多い。

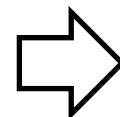


表2
図2

③防犯対策について多くの市民が重要と感じている。

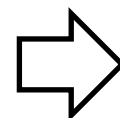
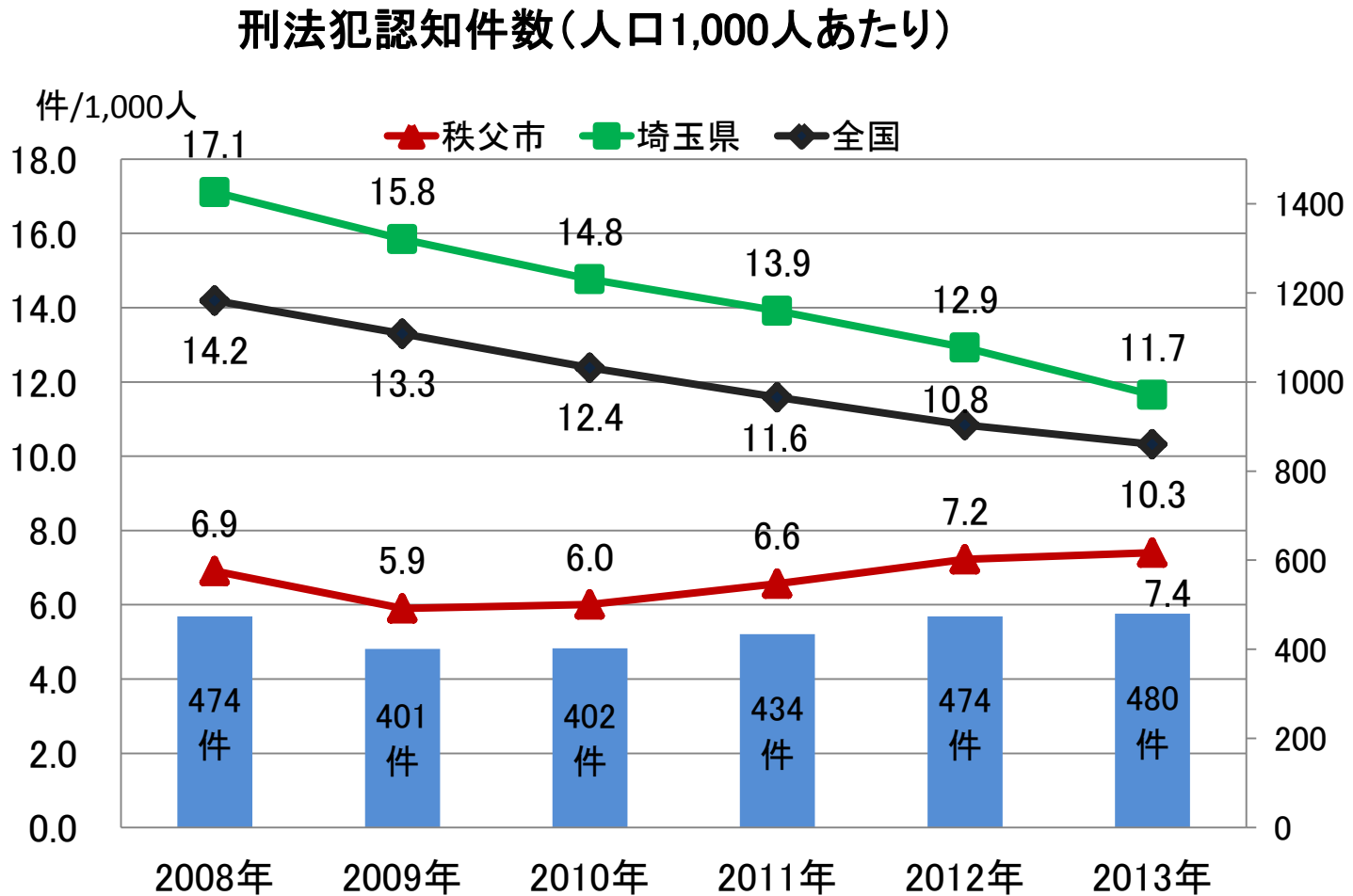


図3-1
図3-2

対策委員会設置の背景 ①

- ・秩父市では、全国・埼玉県に比べて犯罪が少ない。
- ・発生件数は、減少していない。

図1



出典: 警察統計

対策委員会の設置背景 ②

- 秩父市では、犯罪発生件数自体は少ないが、多くの人が犯罪被害に不安を感じている状況にある。

犯罪に対する不安

表1

	犯罪件数	とても不安	少し不安	どちらとも いえない	あまり不安でない	まったく不安でない	無回答
ひったくり	0	8.1	30.2	22.1	26.6	5.5	7.6
自転車の盗難	389	10.7	36.2	18.8	16.2	9.1	9.0
オートバイ・自動車・ 積載物盗難	278	11.4	40.0	20.9	13.9	5.0	8.7
傷害（暴力）	105	8.2	26.3	29.2	22.3	4.9	9.1
器物破損	299	9.0	29.6	28.8	19.2	3.8	9.5
空き巣・忍び込み	172	22.0	47.4	13.3	8.5	2.0	7.0
恐喝	30	9.5	26.5	29.1	19.9	5.7	9.2
痴漢	不明	8.5	23.4	28.9	19.4	9.8	10.0
詐欺	66	20.3	38.6	18.3	11.5	3.7	7.6
その他	不明	2.3	2.4	4.1	1.1	3.2	87.0

※犯罪件数は、2008年～2012年の合計

対策委員会設置の背景 ③

・地域住民が協力して防犯活動に取り組むべきと考えている市民が多い。

表2

自助・共助・公助すべき活動

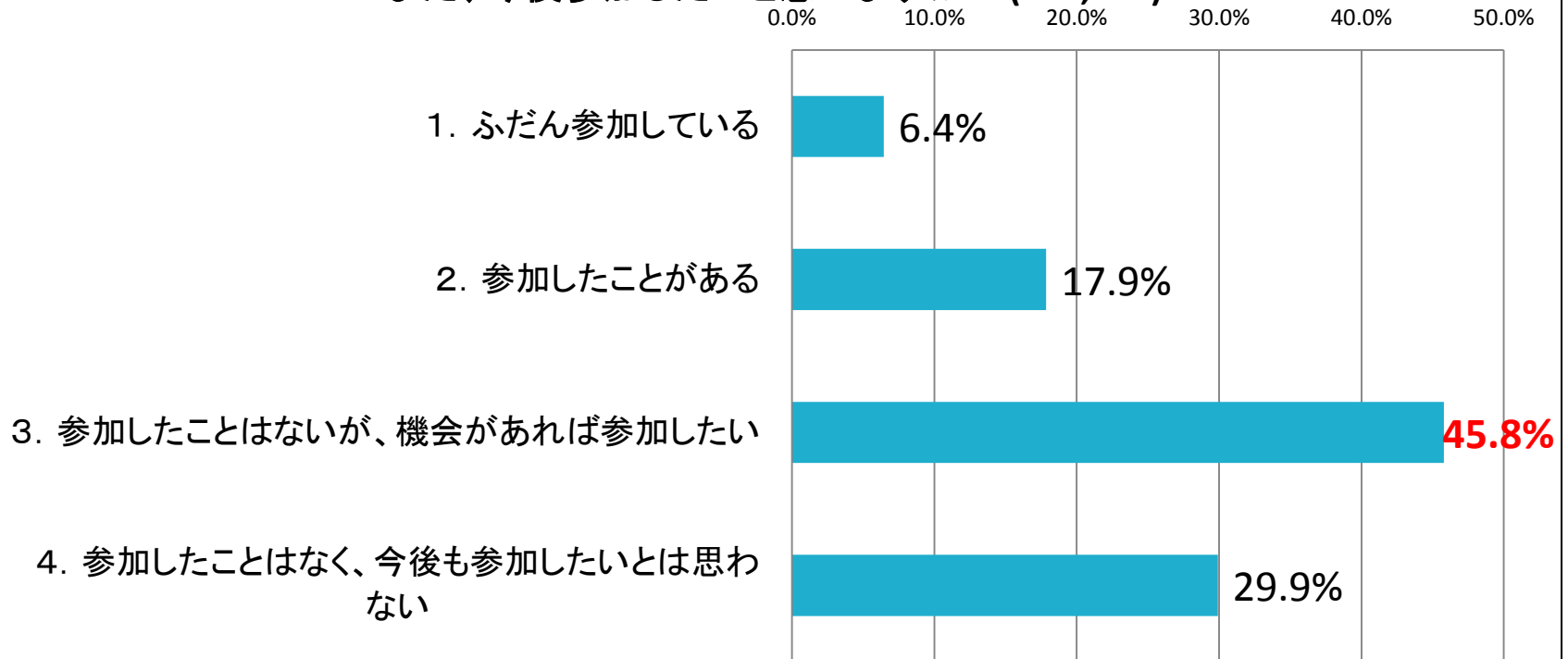
	自助		共助		公助	
	n	%	n	%	n	%
自宅での事故・ケガの予防	838	68.19	70	5.70	54	4.39
交通安全活動	276	22.46	584	47.52	443	36.05
教育施設での安全活動	155	12.61	565	45.97	406	33.03
職場での安心・安全活動	212	17.25	152	12.37	367	29.86
農林業中のケガの防止	181	14.73	172	14.00	472	38.41
余暇におけるケガの防止	410	33.36	251	20.42	228	18.55
自殺・暴力・虐待予防	218	17.74	402	32.71	675	54.92
子どもの安心・安全活動	253	20.59	650	52.89	501	40.76
高齢者の安心・安全活動	276	22.46	592	48.17	537	43.69
障がい者の安心・安全活動	177	14.40	401	32.63	686	55.82
防犯活動	164	13.34	730	59.40	421	34.26
防災活動	238	19.37	641	52.16	549	44.67
防火活動	150	12.21	678	55.17	472	38.41

対策委員会設置の背景 ④

- ・防犯活動に参加したことがある人は少ない。
- ・機会があれば参加したいと考えている人は多い。

図2

あなたは、防犯活動に参加したことがありますか？
また、今後参加したいと思いますか？ (n=1,070)



対策委員会の設置背景 ⑤

防犯施策に対する市民の意識

- ・「防犯対策の強化」については、多くの市民が重要と感じている。
- ・市の防犯施策に対する満足度は低下傾向にある。

図3-1

市民が考える重要施策

■ 防犯対策の強化
▲ 平均値(38項目)

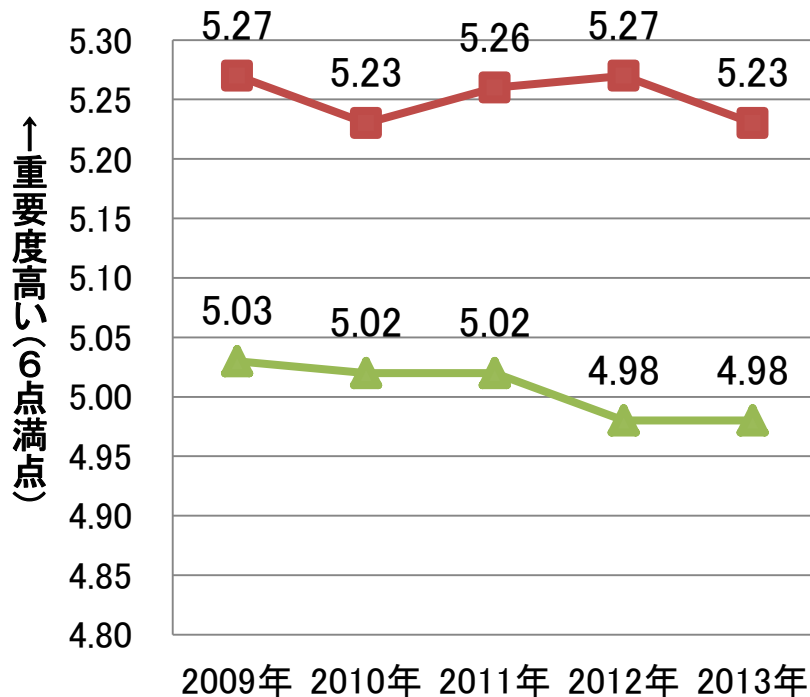
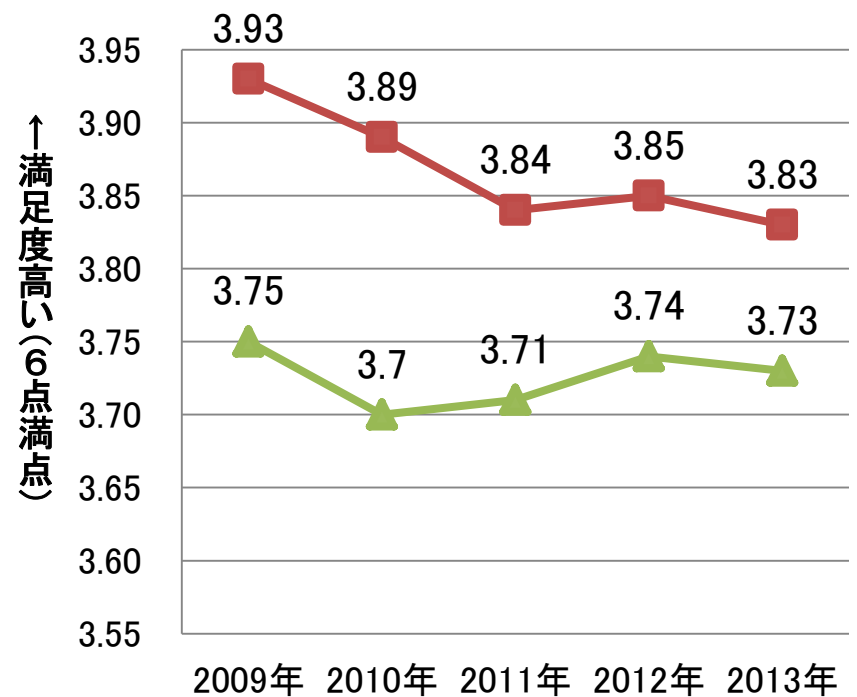


図3-2

施策に対する市民の満足度

■ 防犯対策の強化
▲ 平均値(38項目)



犯罪の防止対策委員会の構成

区分	団体・組織名	委員数	団体・組織名	委員数
住民組織等 (9)	秩父市町会長協議会	1名	秩父市青少年育成協議会	1名
	秩父市民生委員・児童委員協議会	1名	秩父地区保護司会	1名
	秩父地区更生保護女性会	1名	秩父商工会議所	1名
	秩父市商店連盟連合会	1名	秩父市校長会	1名
	秩父地区防犯協会	1名		
関係機関 (2)	秩父警察署	1名	小鹿野警察署	1名
行政機関 (4)	埼玉県秩父地域振興センター			1名
	秩父市(市民生活課、商工課、危機管理課)			3名

犯罪の防止対策委員会の経過①

回数	開催日	主な会議内容
第1回	2013年 8月19日	セーフコミュニティの概要説明
第2回	2013年 9月27日	第1回ワークショップ(主観的な課題の抽出)
第3回	2013年10月31日	第2回ワークショップ (データから見る課題の議論)
第4回	2013年12月17日	重点課題の選定、方向性の検討
第5回	2014年 1月21日	重点課題の選定、方向性の検討、対象の設定、取組みの議論
第6回	2014年 3月20日	重点課題、方向性、対象の再確認、取組みの検討
第7回	2014年 4月 3日	重点課題に対する具体的取組みの検討
第8回	2014年 4月25日	現地指導リハーサル
現地指導	2014年 5月28日	専門家による現地指導(活動報告)

犯罪の防止対策委員会の経過②

回数	開催日	主な会議内容
第9回	2014年 8月11日	事前審査の講評について白石先生から説明 (合同対策委員会)
第10回	2014年 9月 5日	取り組みの具体的な進め方及び成果指標の検討
第11回	2014年10月31日	具体的な取り組み及び成果指標の検討
正副委員長 会議	2014年11月26日	各対策委員会の進捗状況の報告、情報共有
第12回	2014年12月18日	課題と取り組み、成果指標の検討について
第13回	2015年 2月 5日	取り組み及び成果指標の最終検討
第14回	2015年 3月 13日	取り組み等の最終検討について
第15回	2015年 4月 23日	取り組み及び成果指標の最終検討
第16回	2015年 6月 15日	現地審査の報告資料を検討

秩父市の現状（地域診断の結果）

【ワークショップによる主観的な意見】

- ・街中も小道に入ると暗い所がある。
- ・投資サギの被害が多い。
- ・秩父市では外出の際、鍵をかけないことが多い。

【データからみた客観的な危険】

- ・秩父市では、刑法犯罪認知件数は、減少傾向にない。
- ・市街地での犯罪発生率は、比較的高い。
- ・粗暴犯罪等も少ないながら発生している。
- ・防犯対策の強化を望んでいる市民が多い。
- ・空き巣や詐欺などの犯罪に不安を感じている市民が多い。

- ・地域の防犯活動に参加している人が少ない。反面、機会があれば参加したいと考えている人が若い世代ほど多い。

図1、4

図4、5、10

図5、6、7

図3-1、3-2、8

表1、

図12-1、12-2

表2、図2、

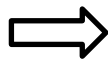
図9、11

地域診断① ワークショップでの検討

ワークショップを2回開催し、主観的な危険及びデータから見た危険について意見を出し合いました。



各委員が数多くの意見を出し合いました。



ワークショップでの検討事項を他の委員会の皆さんに発表し、情報共有しました。

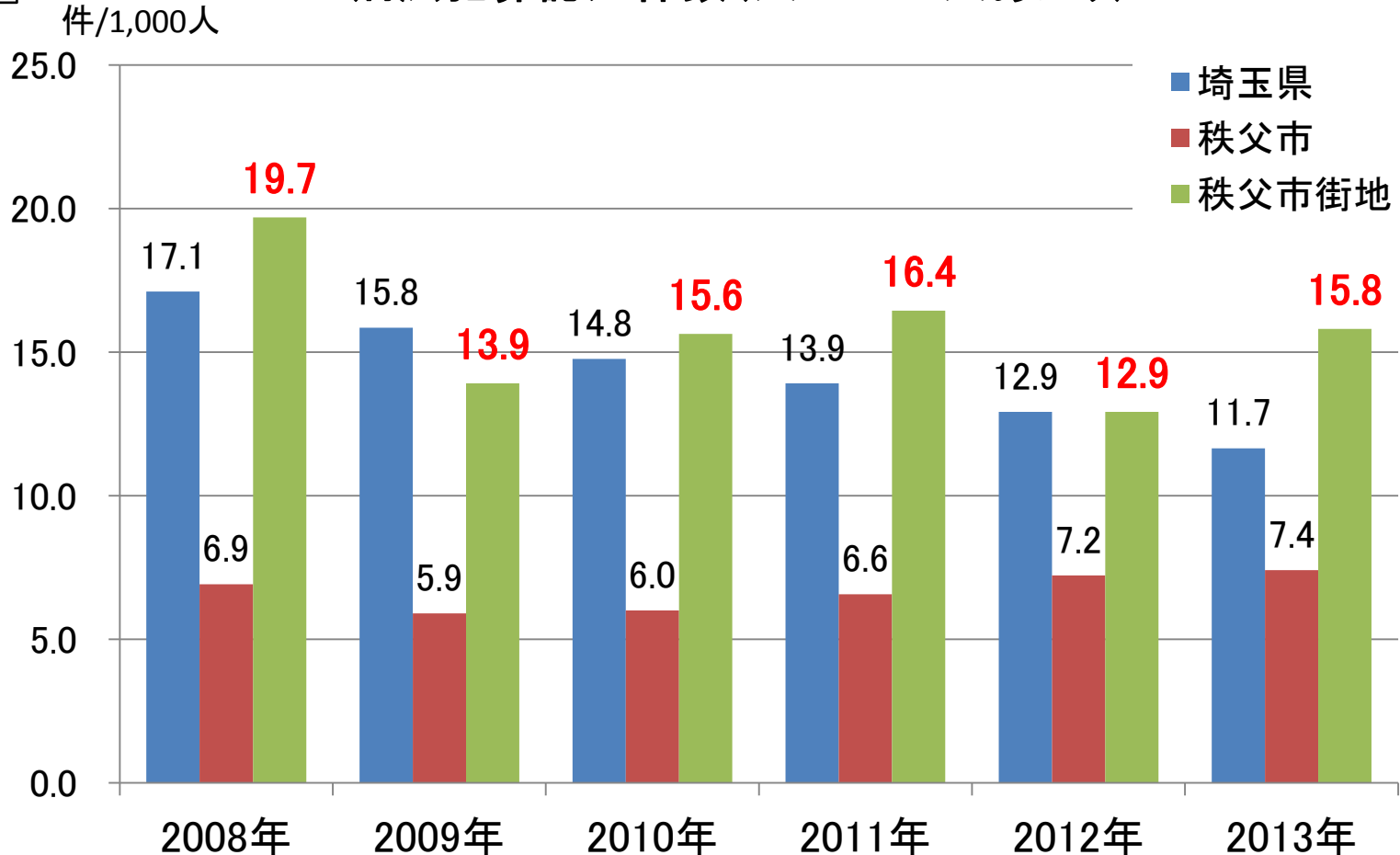


地域診断② データから見た客観的な危険(1)

市街地では、刑法犯罪の発生は埼玉県と同程度ある。

図4

刑法犯罪認知件数(人口1000人あたり)



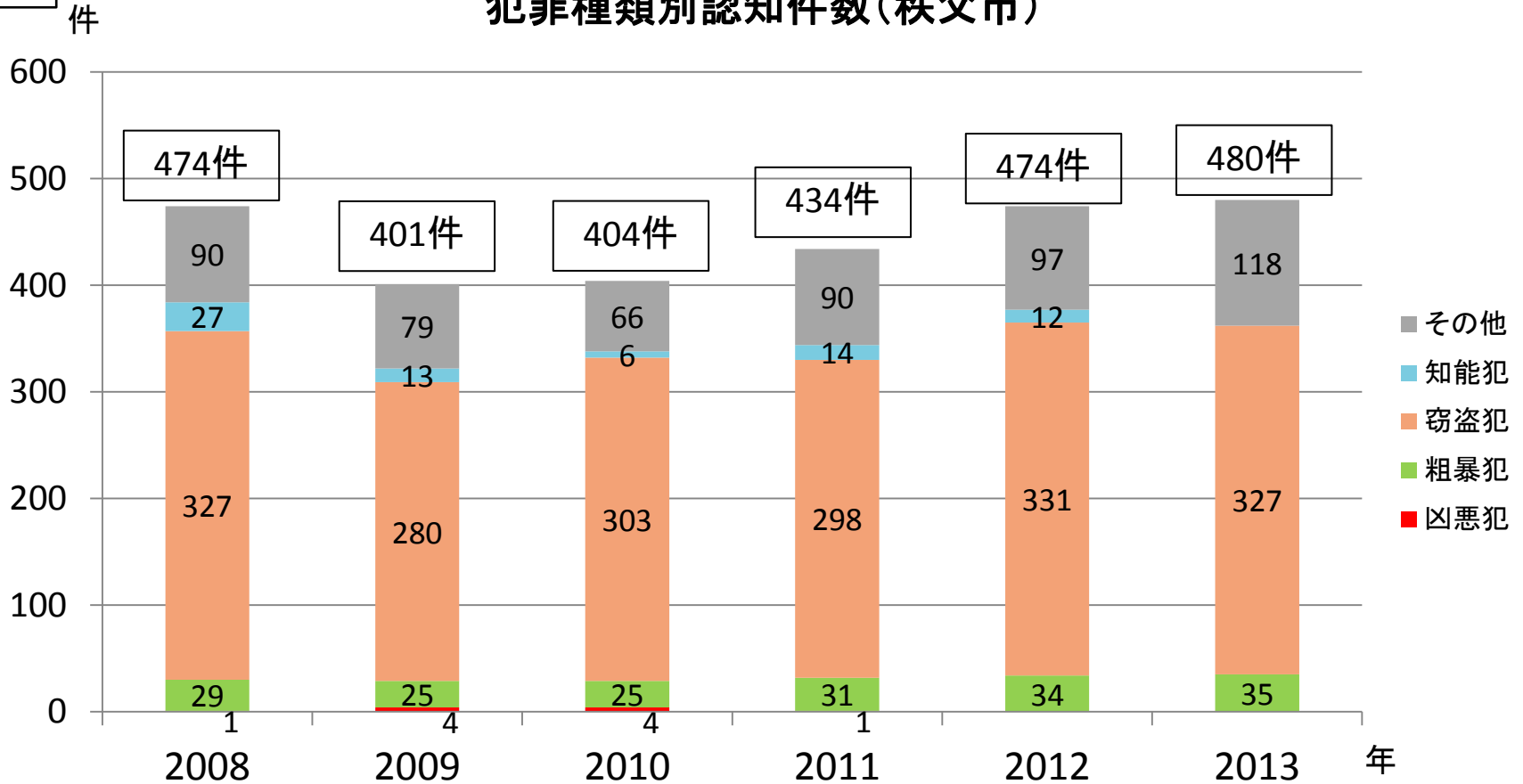
出典:警察統計

データから見た客観的な危険(2)

犯罪の種類は、「窃盗犯」が約7割。「粗暴犯」はやや増加している。

図5

犯罪種類別認知件数(秩父市)



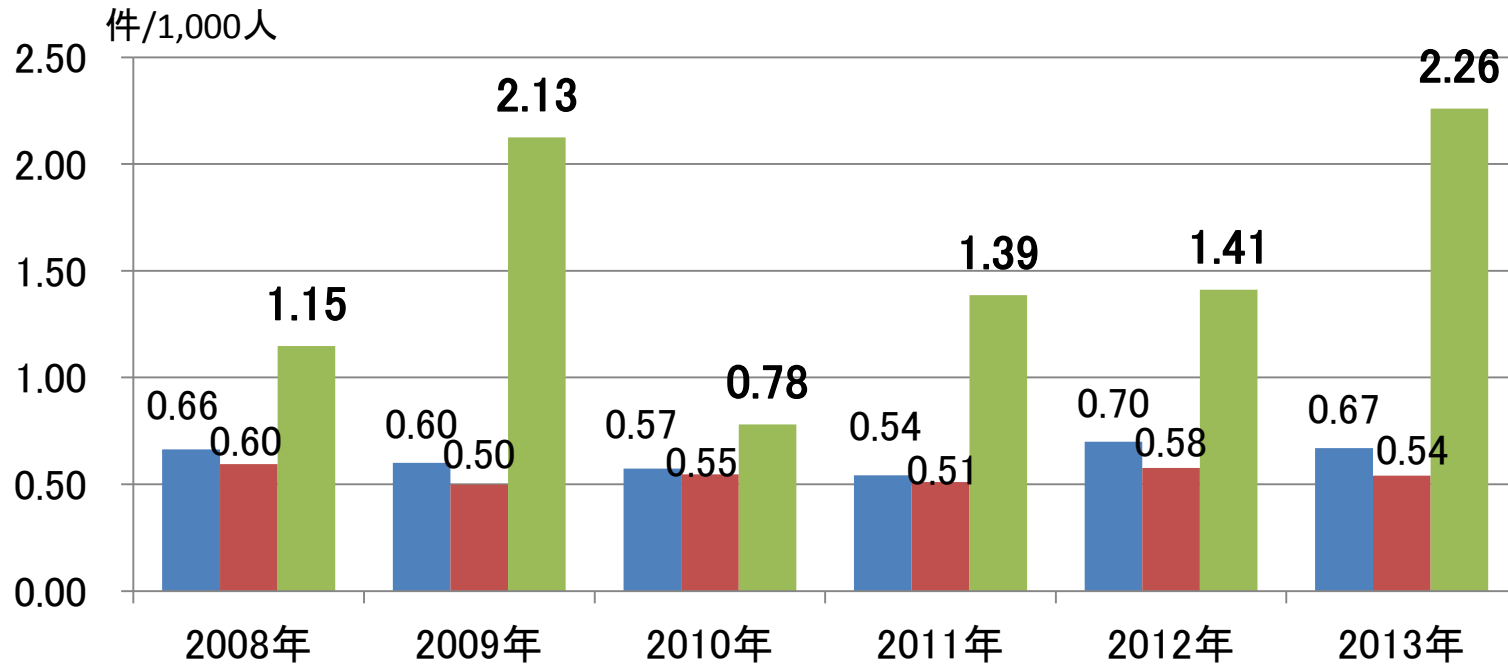
データから見た客観的な危険(3)

粗暴犯罪の発生率は、秩父市街地では、埼玉県を上回っている。

図6

粗暴犯罪等認知件数
(人口1000人あたり)

■ 埼玉県
■ 秩父市
■ 秩父市街地

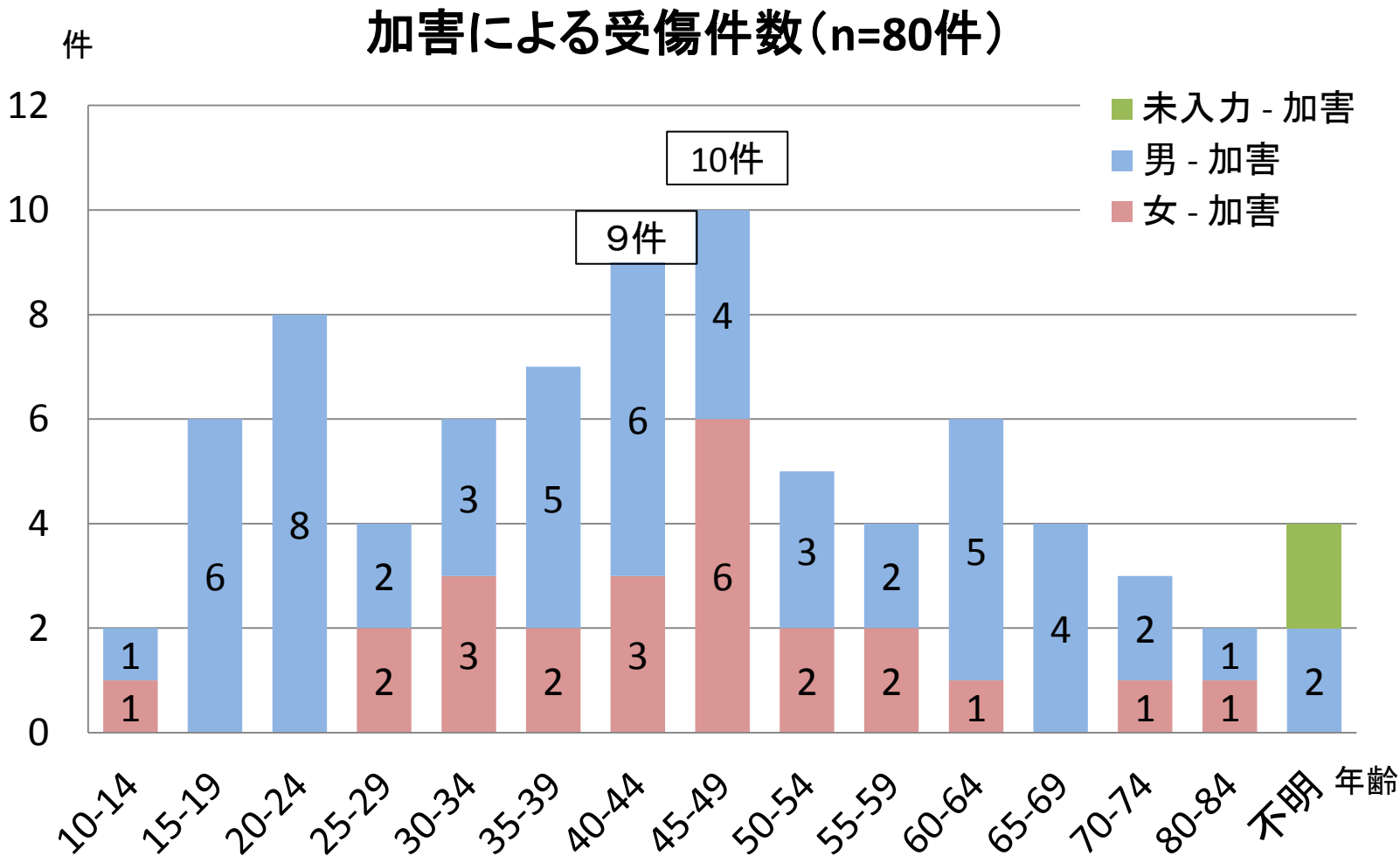


出典:警察統計

データから見た客観的な危険(4)

- ・加害による受傷も発生している。
- ・40代の受傷が多い。

図7



出典: 救急搬送データ(2008年~2013年)

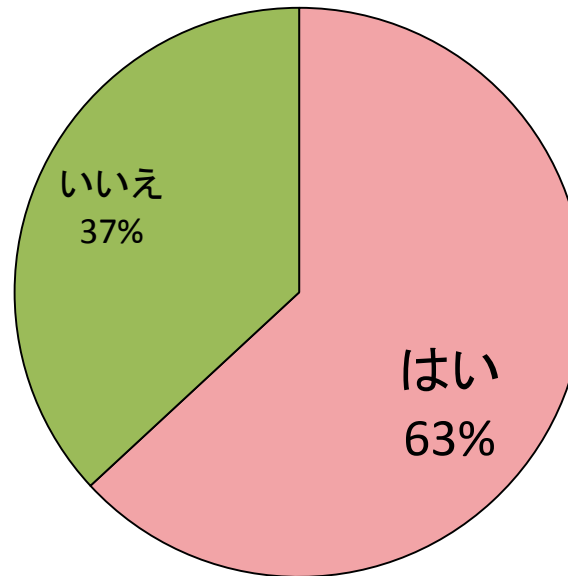
データから見た客観的な危険(5)

犯罪に対する備え

街路灯が少なく、夜間、暗いと感じている人が多い。

図8

夜間に街路灯が少なく暗い
(n=1,130人)



出典: 秩父市安心・安全なまちづくりアンケート
(2013年)

データから見た客観的な危険(6)

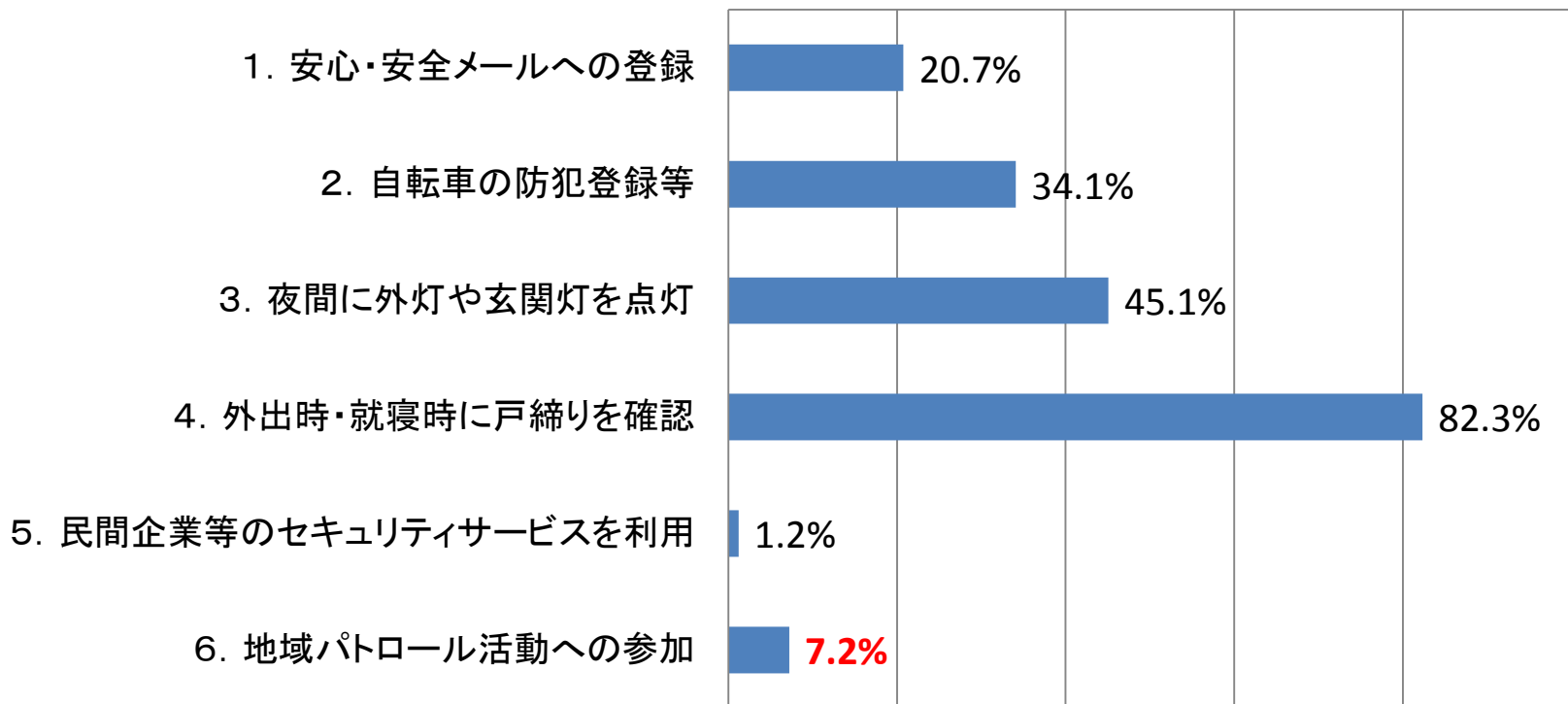
犯罪に対する備え

地域パトロール活動に参加している人は少ない。

図9

あなたは犯罪に対してどのような備えをしていますか？
(n=1,229人)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

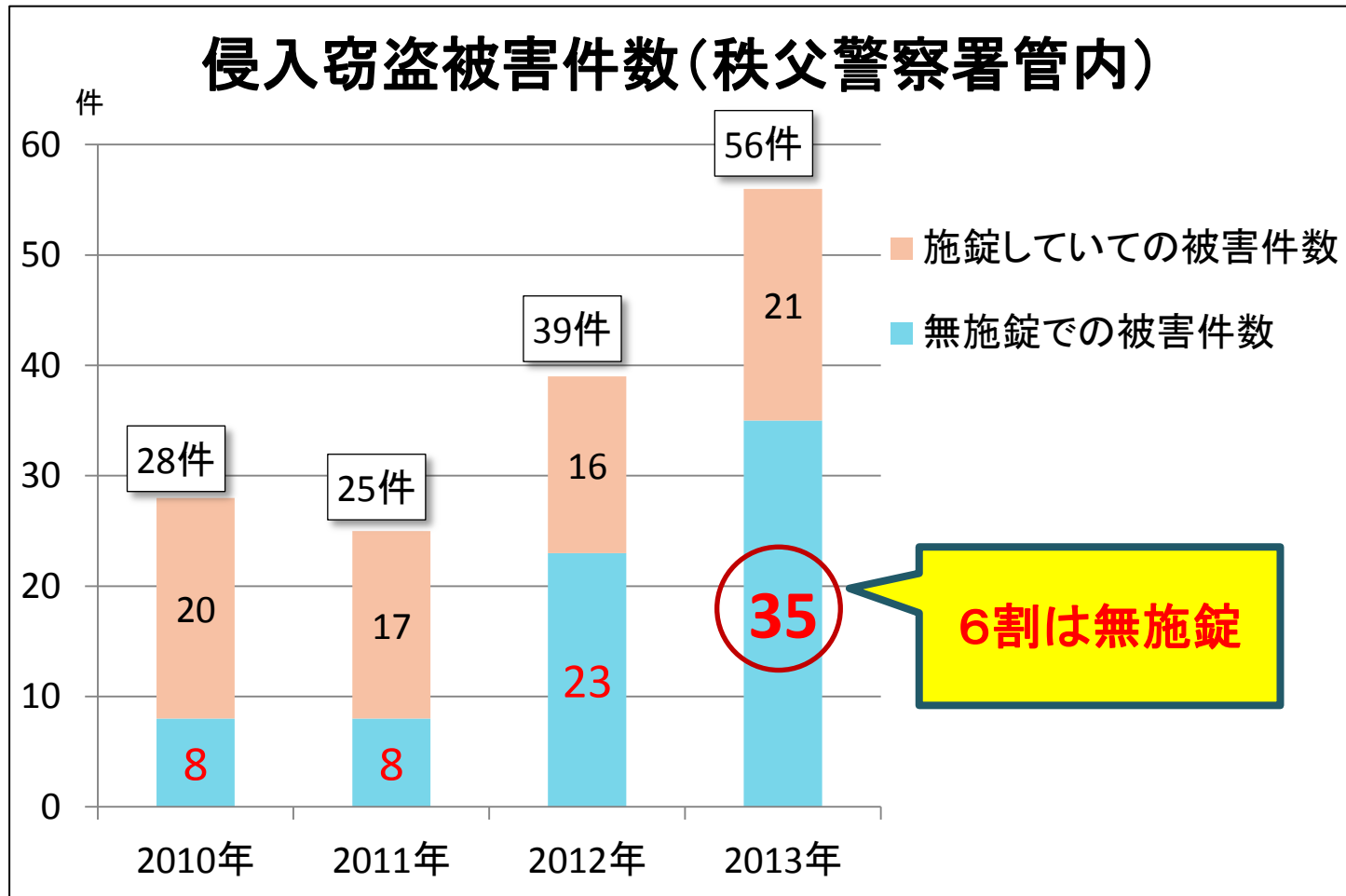


出典: 秩父市安心・安全なまちづくりアンケート(2013年)

データから見た客観的な危険(7)

・鍵をかけないで侵入窃盗被害に遭っているケースが約6割。

図10



出典:秩父警察署(2010年~2013年)

データから見た客観的な危険(8)

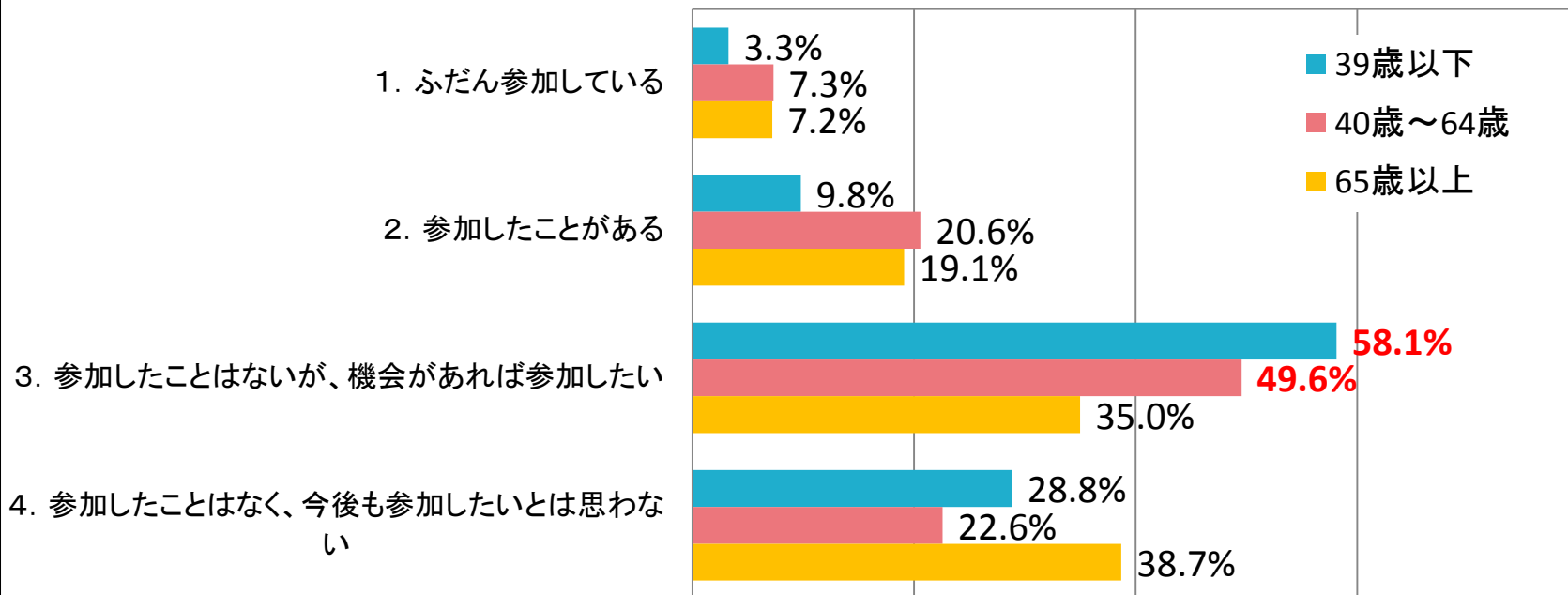
防犯活動への参加

若い世代ほど「機会があれば防犯活動に参加したい」と考えている人が多い。

図11

あなたは、防犯活動に参加したことがありますか？
また、今後参加したいと思いますか？(n=1,070人)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



データから見た客観的な危険(9)

犯罪に対する不安では、空き巣・忍び込み、詐欺に対して不安を感じている人が多い。

空き巣・忍び込みに対する不安(n=1,143人)

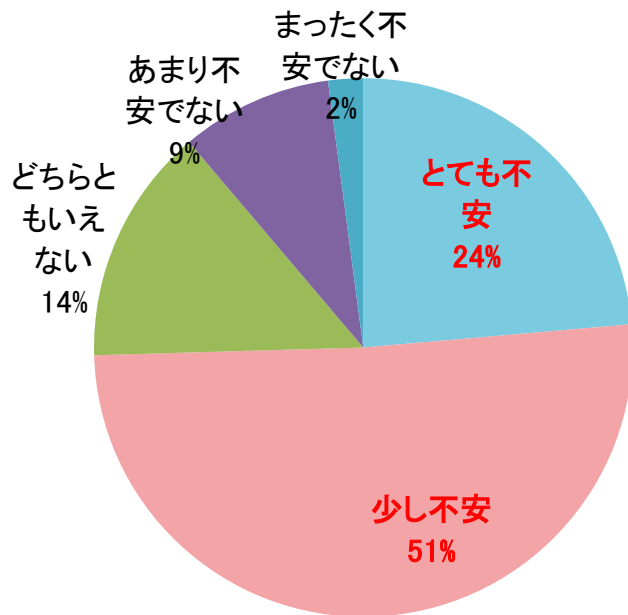


図12-1

詐欺に対する不安(n=1,135人)

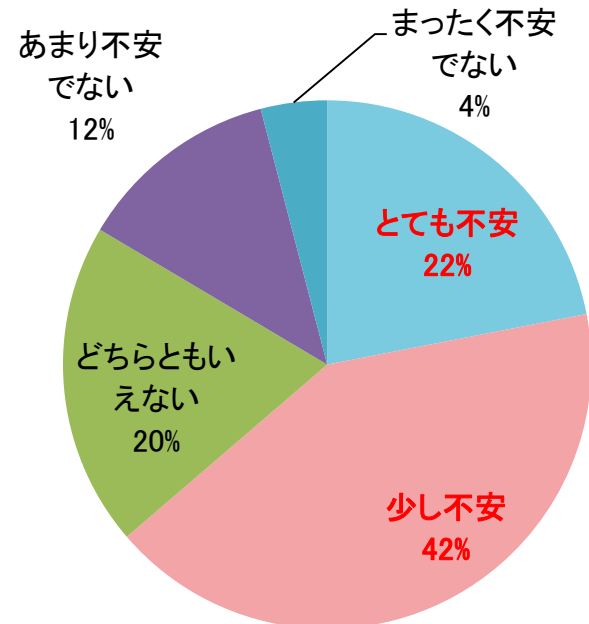


図12-2

地域診断による課題の整理

図1

図4

図5

図6

図7

課題1 刑法犯罪認知件数は、全国、埼玉県に比べて少ないが、減少傾向にはない。

課題2 市街地での犯罪発生率が比較的高い。

課題3 防犯対策の強化を望んでいる市民が多い。

課題4 防犯活動の参加者が少ない。

課題5 詐欺への被害に不安を感じている市民が多い。

方向性
1

方向性
2

図10

図3-1

図3-2

図8

表2

図2

図9

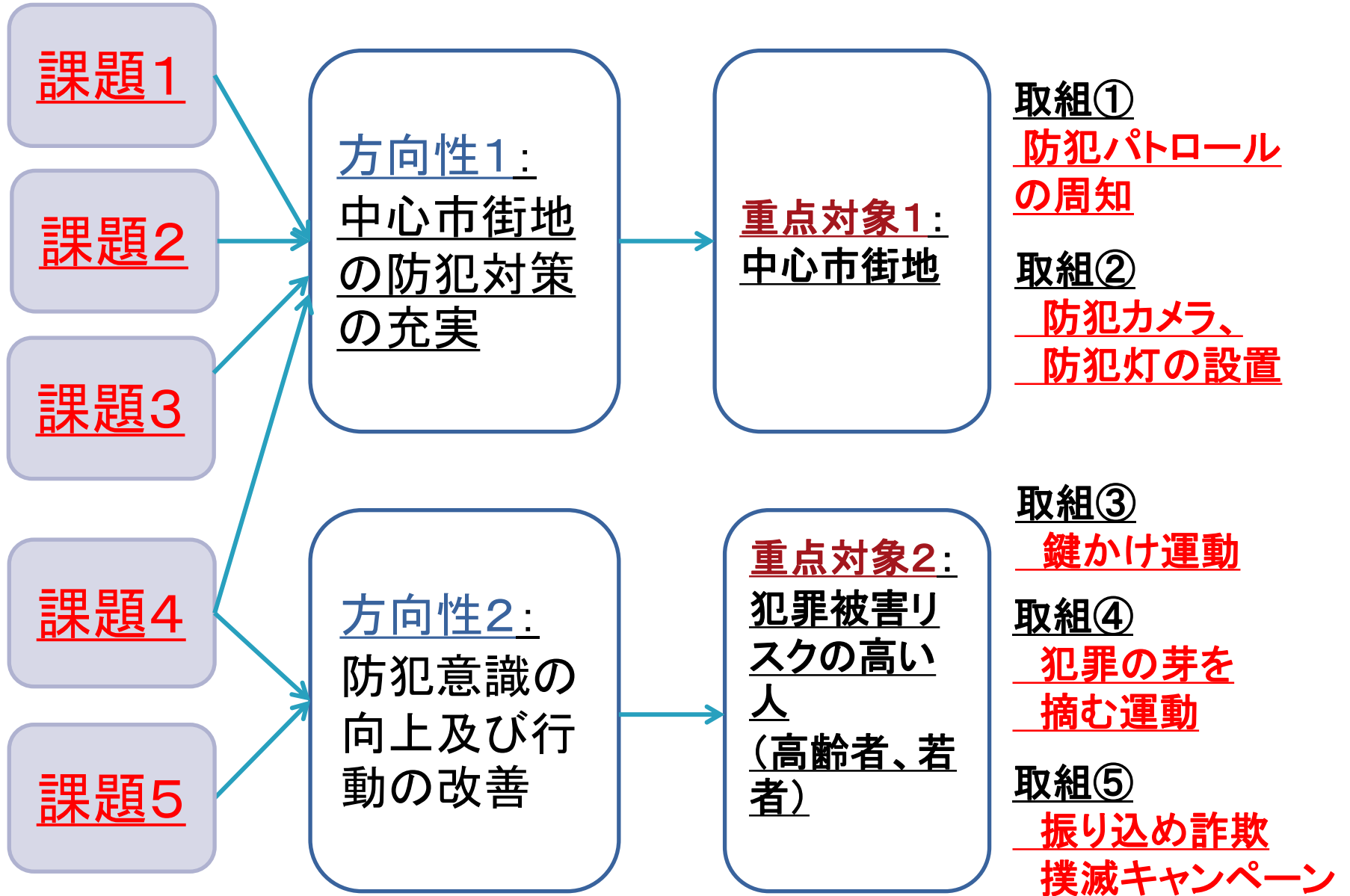
図11

表1

図12-1

12-2

課題、方向性、重点対象、取組の整理



犯罪予防の取り組み一覧

	啓発	パトロール	相談	環境
暴力を伴う犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール参加啓発のチラシ配布 ・ホームページの作成 ・防犯ボランティアの募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察によるパトロール実施 ①防犯パトロールの周知 ・パトロール実施状況の調査、情報共有 ・パトロールカードの作成・配布 ・防犯パトロールグッズの配布 ・市役所退職者や隣組長等による防犯活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力相談(暴力団に関する事等、市) 	<ul style="list-style-type: none"> ②防犯カメラ・防犯灯の設置 ・防犯カメラ作動中の表示 ・防犯灯設置 ・秩父市暴力団排除条例の制定
侵入盗など他の犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ③鍵かけ運動 ・防犯講習会の開催 ・啓発グッズ・チラシの配布 ・各戸訪問時の声掛け ・市報等での呼びかけ 			
市民の不安が強い犯罪 (悪質商法・振り込め詐欺)	<ul style="list-style-type: none"> ④犯罪の芽を摘む運動 ・啓発チラシ(市内交番・駐在所の連絡先記載)の作成・配布 ・啓発ポスター(市内交番・駐在所の連絡先記載)の掲示 ⑤振り込め詐欺撲滅キャンペーン ・街頭キャンペーン ・振り込め詐欺防止講習会 ・消費生活講習会 ・防災無線による注意喚起 ・安心・安全メールでの注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ・ATM警戒 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り込め詐欺防止ホットライン ・コールセンター事業 ・消費生活相談(市) ・消費者相談(県) ・警察相談 	

◎: 対策委員会で重点取り組み

赤文字: 新規

緑文字: 改善

黒字: 既存の取り組みを継続

中心市街地の防犯対策の充実

新規

・取り組み①

「防犯パトロールの周知」

1 概要

防犯パトロールを実施していることをパトロールカードの配布、ホームページ等で活動を紹介することにより、地域住民に周知する。また、市役所退職者や隣組長には防犯活動に協力してもらう。

2 関係主体

防犯推進員、町会、警察、防犯協会、県、市

3 活動実績

パトロール実施回数	1, 236回(2013年)
パトロールカード作成枚数	30, 000枚(2014年)

4 SCを始めてからの変化

パトロールカードの配布、パトロール活動のホームページへの掲載により、活動をアピール。
また、隣組制度を利用したきめ細かい防犯活動の実施。

パトロールカード(控) 兼 報告書

管理番号

【No. 】 月 日 (曜日)

午前・午後 時 分ごろ 宅

みんなでつくろう安心の街

パトロールカード

【No. 】 月 日 (曜日)

午前・午後 時 分ごろパトロールしました。

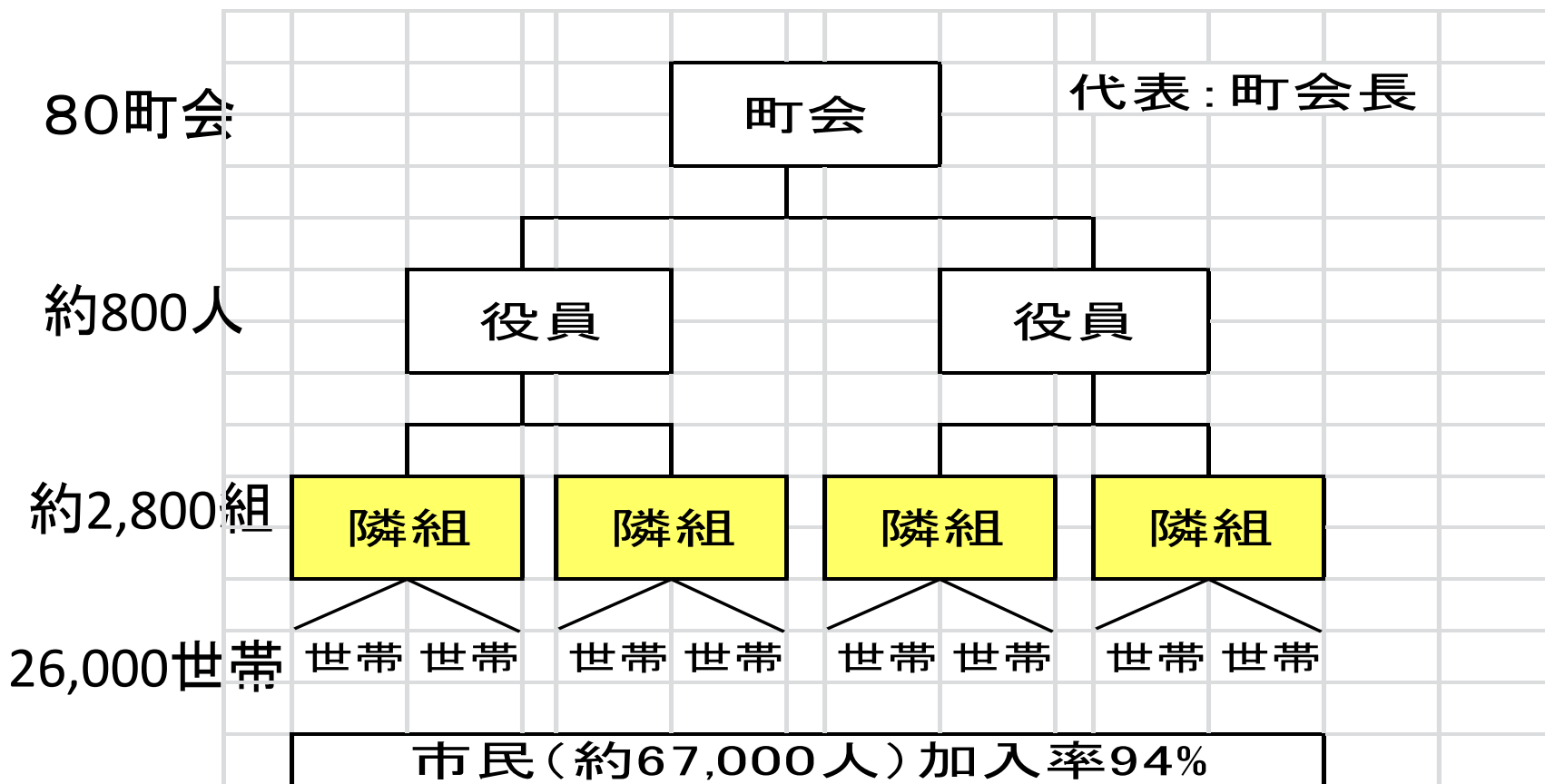
地域防犯推進委員
氏 名

秩父地区防犯協会・秩父警察署
(問い合わせ先 防犯協会 24-4562)

管理番号

取り組み① 隣組制度とは

・町会よりさらに細かい区分で、複数の隣組によって町会になっている。

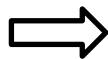


地域診断① ワークショップでの検討

ワークショップを2回開催し、主観的な危険及びデータから見た危険について意見を出し合いました。



各委員が数多くの意見を出し合いました。



ワークショップでの検討事項を他の委員会の皆さんに発表し、情報共有しました。



中心市街地の防犯対策の充実

・取り組み②

「防犯カメラ、防犯灯の設置」

1 概要

防犯カメラの設置、「防犯カメラ作動中」の表示設置
防犯灯の設置

2 関係主体

商工会議所、商店連盟連合会、警察、町会、市

3 活動実績

	2013年	2014年	合計
防犯カメラ設置台数	25台	14台	39台
「防犯カメラ作動中」シール作成		200件	200件
防犯灯設置台数	40台	48台	48台

4 SCを始めてからの変化

「防犯カメラ作動中」の表示を増やすことにより、防犯カメラの抑止効果を高める。

新規

防犯カメラ作動中

セーフコミュニティちび
犯罪の防止対策委員会

防犯意識の向上及び安全行動の改善

新規

・取り組み④

「犯罪の芽を摘む運動」

1 概要

犯罪につながるような行為を目撃した際、見て見ぬふりをせずに、警察や関係機関への連絡をするという意識を防犯教室、防犯グッズの作成、配布、防犯ポスターの掲示等により、啓発する。

2 関係主体

警察、町会、市、防犯推進員

3 活動実績(2015年)

啓発チラシ作成枚数 3,000枚

4 SCを始めてからの変化

市役所、関係機関への連絡により、危険情報の共有

誰かが **見てるぞ!**
～犯罪の芽を摘む安心・安全なまち～



大切なのは「地域の目」
犯罪者が怖がるのは「地域の目」です。「いつか通り戸家などの人だを監視する、
秋火署警察(TEL24-0110)・小倉野警察署(TEL75-0110)も人は、被害者の安全・駐在所に
相談してください。」
一人一人の「地域の目」が、安心・安全なまちづくりの第一歩になります。

～秋火市内の交番・駐在所～

西武秩父駅前交番	尾田町駐在所	大滝駐在所	上吉田駐在所
TEL 24-3329	TEL 24-5685	TEL 56-0020	TEL 78-0042
秩父駅前交番	鹿島駐在所	中津川駐在所	
TEL 24-3015	TEL 24-4039	TEL 56-0155	
高碑駐在所	大田駐在所	三峰口駐在所	
TEL 24-4369	TEL 62-2316	TEL 54-2009	
原谷駐在所	中川駐在所	下吉田駐在所	
TEL 24-4370	TEL 54-1069	TEL 77-0069	



セーブコミュニティクラブ 犯罪の防止対策委員会、秩父警察署、小倉野警察署

防犯意識の向上及び安全行動の改善

新規

・取り組み⑤

「振り込め詐欺撲滅キャンペーン」

1 概要

街頭キャンペーン、啓発チラシ配布などにより、振り込め詐欺の被害抑制を図る。

2 関係主体

県、警察、防犯協会、防犯推進員、市

3 活動実績(2014年)

啓発チラシ作成枚数 1,300枚
防災無線・安心安全メールによる注意喚起



4 SCを始めてからの変化

警察、埼玉県と連携してキャンペーンを開始した。

取り組み⑤ 振り込め詐欺とは

・オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資請求詐欺、還付金詐欺の総称。

振り込め詐欺

オレオレ詐欺

親族等を装い、電話を利用して示談金等の名目で現金をだまし取るもの。

架空請求詐欺

利用料金未納等架空の事実の料金を、文書や電話等により請求し、現金だまし取るもの。

融資保証金詐欺

融資する意思がないにもかかわらず、融資を行う旨の文書を送付するなどして、融資の申込者から手数料等の名目で現金をだまし取るもの。

還付金等詐欺

税務署等を騙り、税金等の還付に必要な手続きを装って、被害者にATMを操作させ、現金をだまし取るもの。

現地指導の際のアドバイス

アドバイス

①

観光客が犯罪に巻き込まれることもある

対応

犯罪の芽を摘む運動で、地域全体で「犯罪の起こりにくいまちづくり」を進めることになった。

アドバイス

②

退職後の年齢層が詐欺の被害にあいやすい

対応

振り込め詐欺撲滅キャンペーンもセーフコミュニティの取り組みとして追加した。

取組

取組 1

対策:防犯パトロールの周知

実施・関係者:防犯推進員、町会、警察、防犯協会、県、市

実施内容:防犯パトロールを実施していることをパトロールカードの配布、市報等で活動を紹介することにより、地域住民に周知する。
また、市役所退職者や隣組長には防犯活動に協力してもらおう。

改善点:パトロールカードの配布、パトロール活動のホームページへの掲載により、活動をアピールする。
また、隣組制度を利用したきめ細かい防犯活動の実施。



成果

成果 1

活動指標:パトロール実施回数
パトロールカード配布数

短期的な成果:防犯パトロールの認知度の向上

中期的な成果:防犯パトロールへの参加者の増加

長期的な成果:市民満足度の向上、犯罪件数の減少



取組 2

対策:防犯カメラ、防犯灯の設置

実施・関係者:商工会議所、商店連盟連合会、警察、町会、市

実施内容:防犯カメラの設置、「防犯カメラ作動中」の表示の設置、防犯灯の設置

改善点:「防犯カメラ作動中」の表示を増やすことで、防犯カメラの抑止効果を高める。



成果 2

活動指標:防犯カメラ設置台数、防犯灯設置台数
「防犯カメラ作動中」の表示の件数

短期・中期的な成果:防犯カメラが設置されていることの認識向上

長期的な成果:中心市街地での犯罪の減少

取組

取組 3

対策: 鍵かけ運動

実施・関係者: 民生委員、町会、警察、市

実施内容: 街頭キャンペーン、啓発チラシ、各戸訪問時の声掛けなどにより、施錠の徹底を推進する。

改善点: 被害の実態について情報提供することにより、防犯意識の向上を目指す。



成果

成果 3

活動指標: 街頭キャンペーン実施回数、啓発チラシの配布数

短期的な成果: 防犯意識の向上

中期的な成果: 施錠している割合の増加

長期的な成果: 侵入盗被害の減少



取組 4

対策: 犯罪の芽を摘む運動

実施・関係者: 警察、町会、市、防犯推進員

実施内容: 犯罪につながるような行為を目撃した際、見て見ぬふりをせずに警察や関係機関への連絡をするという意識を防犯教室、防犯グッズの作成、配布、防犯ポスターの掲示等により啓発する。

改善点: 防犯ポスターの設置。



成果 4

活動指標: 防犯ポスターの掲示件数
防犯教室開催件数

短期・中期的な成果: 防犯意識の向上

長期的な成果: 刑法犯認知件数の減少

取組 5

対策: 振り込め詐欺撲滅キャンペーン

実施・関係者: 県、警察、防犯協会、防犯推進員、市

実施内容: 街頭キャンペーン、啓発チラシ配布などにより、振り込め詐欺の被害抑制を図る。

改善点: 警察、埼玉県と連携してキャンペーンの実施。



成果 5

活動指標: 街頭キャンペーンの実施回数、啓発チラシの作成数

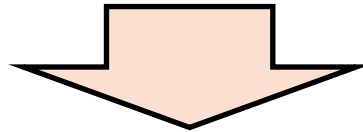
短期・中期的な成果: 防犯意識の向上

長期的な成果: 犯罪に対する不安の軽減

現在の課題と今後の方向性

現在の課題

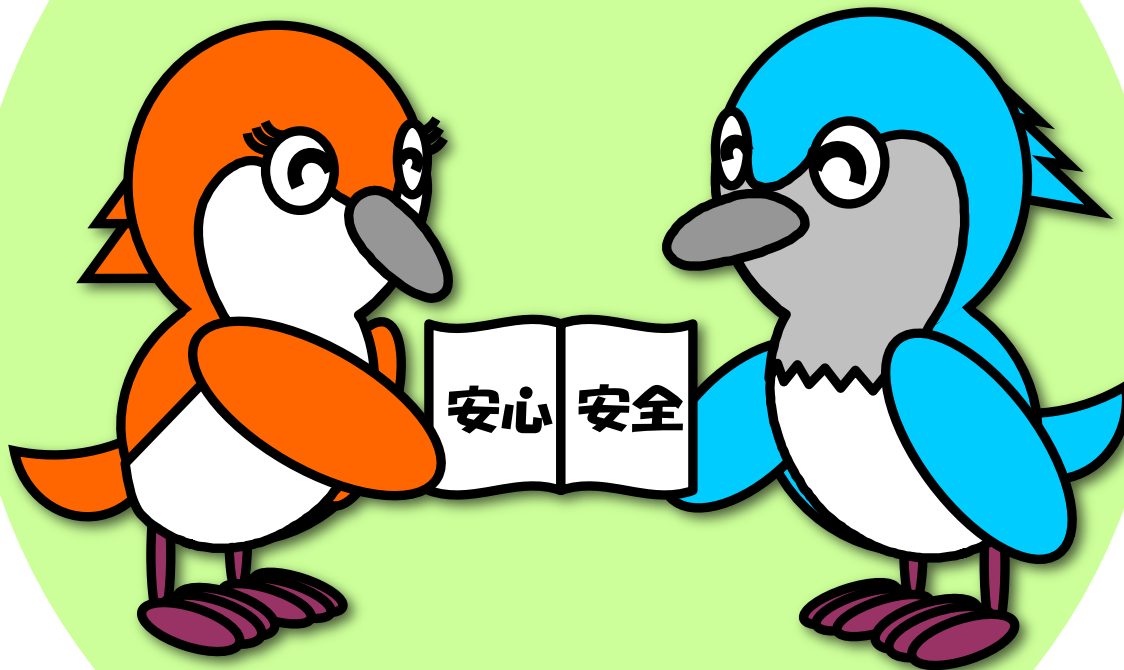
- * 若い世代の防犯活動への参加者が少ない
- * 退職者の社会参加の仕組みがない
- * 防犯カメラや防犯灯の維持管理費が負担になる



今後の方向性

- * 若い世代や退職者が参加できる仕組みを検討する
- * 地域全体で犯罪を減らす取組みを推進する

セーフコミュニティ



秩父市

ありがとうございました！